

江差町立南が丘小学校



かけはし



【本年度の重点教育目標】

『学習したことをもとに考え、自ら実行できる子どもの育成』

〔笑顔・信頼〕〔学び合い・高め合い〕〔習慣・継続〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

学習発表会を終えて

南が丘小学校長 安田 善紀

日に日に寒くなり、秋も深まってまいりました。大規模な流行性感冒もなく、子どもたちは元気に登校しています。秋真っ盛りで、芸術の秋・スポーツの秋・収穫の秋・読書の秋など、様々な秋の取組を満喫したいところです。

さて、10月19日（土）に学習発表会を行いました。多くの保護者・地域の皆様にご参観いただきありがとうございます。昨年度の学習発表会は、コロナ禍明けで、従来の全学級一斉公開のフルスペックで行い、盛況を取り戻そうと取り組みました。今年度は内容の充実を重点に企画しました。具体的には学校重点教育目標の内容と学習発表会のねらいをリンクさせ、学習発表会の取組を通して子どもたちの豊かな心を育てようと考えました。その旨を総練習の折に子どもたちへ、学習発表会当日は参観された保護者・地域の皆様にお伝えしました。下記の内容は、学習発表会の校長挨拶の一部です。

学習発表会は運動会と並び学校の大きな行事の一つです。日常の教室での学びと違い、劇や踊り・音楽などを通し、観客の皆様にも、自分たちの表現内容を伝えることを主眼において取り組んでいます。具体的には、台詞を聞こえるようにしっかりと伝える・身体を大きく動かしキビキビと踊る・タイミングや息を合わせて音を奏でるなど、皆様に感動を届けたい一心で一生懸命練習してきました。このように、観客である皆様のためにと想う気持ちを育むことが本校の重点教育目標の一つです。他者意識を醸成し、豊かな心を育成することが、安心・安全で信頼される学校づくりへと繋がると考えます。

今年度の学習発表会のスローガンは「響け 心に ～45人の気持ちをひとつにがんばろう～」と設定し、自分たちの発表を見てもらうことを意識して練習に励んできました。学習発表会の最後の演目である児童会長挨拶では、6年金子宗裕さんが「見てくださった保護者や地域の皆さんに感動を届けるように練習をがんばってきました。」と話してくれました。私たち教職員が子どもたちに学習発表会を通して育てたいことを、児童の言葉として語られることに感慨深いものがありました。

学習発表会が終わり、帰路につく観客の皆様にも体育館出口で感謝の挨拶をしました。多くの方から「良い学習発表会だったね。」「面白かったよ。」「落ち着いて発表できていたね。」「一生懸命がんばっていることが伝わったよ。」など、お褒めの言葉をいただきました。嬉しかったです。この貴重な体験を生かしながら今後の教育活動に繋げていきたいと思っております。

自信をもって発表する姿に大きな拍手！～学習発表会～



1年生の元気なダンス「アドベンチャー」



2・3年生がおもしろおかしく演技した「どろぼう大集合」



思い切って楽しく踊った4年生のダンス「はい よろこんで」

体の成長について学ぶ「食育」

山本栄養教諭による「食育」教室を行いました。1年生から6年生まで、各学年の発達段階に合わせて、食べることと、体の成長について、丁寧にわかりやすく教えてくださいました。



6年生は「カルシウム」について学びました。

子どもたちは、これまでの練習の成果を発揮して、精一杯の演技やダンス、歌や器楽を発表しました。

子どもたちからは、「発表したい!」「見てほしい!」という気持ちが伝わってきました。本番に向けて、先生たちが演技、ダンス、歌、器楽などを指導してきました。子どもたちは、毎日の練習を積み重ねて、いつの間にか上手にできるようになっていました。そして、本番は、とっても楽しんで発表している様子が印象的でした。子どもたちの発表は、先生たちの指導の手を離れ、自分のものにして、自信をもって発表していたように感じました。会場の皆さんにも、子どもたちの一生懸命に発表しようとする思いが伝わったことと思います。保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちへの大きな拍手をいただき、ありがとうございました。



伝統芸能を師匠から直接教わった5年生の「江差沖揚げ音頭」



会場が笑いに包まれた6年生の劇「繁次郎 とんち話」

子どもたちは、今まさに育ちざかりです。子ども時代にどのような食事をするかは、これからの成長に大きく関わってきます。子どもたち自身が、食べ物についての正しい知識を得て、健全な食生活を送ろうとする態度を養うことはとても大切なことです。子どもたちには、学んだことをもとに、自らのためにこれからの健康な生活を送れるようになってほしいです。